

# 生涯教育研修活動報告書

## 一般検査研究班

- 1 実施日時： 2022年10月9日 9時30分～16時00分
- 2 会場： 学校法人明星学園 国際医療専門学校 教科・点数：専門－20点
- 3 主題： 令和4年度一般検査鏡検実習
- 4 講師： 藤村 和夫、柿沼 智史、渡邊 裕樹、小針 奈穂美、中川 禎己、  
松本 実華、織田 喜子、小関 紀之、飯塚 桂子
- 5 協賛： なし
- 6 参加人数： 会員 29名 賛助会員 0名 非会員 0名
- 7 出席した研究班班員：藤村和夫 柿沼智史 渡邊裕樹 小針奈穂美 中川禎己  
松本実華 織田喜子
- 8 研修内容の概要・感想など  
令和4年度一般検査鏡検実習を国際医療専門学校で開催いたしました。  
参加いただいた会員の感想を掲載させていただきます。

さいたま市立病院

我妻 朋代

今回、初めて一般検査鏡検実習に参加させていただきました。実習は6つの班に分かれて行い、赤血球・白血球・上皮細胞・円柱・結晶・髄液・症例検討などの検体を観察しました。一般研究班の方々に班ごとに指導をしていただき、鏡検をしながら細胞の特徴や観察の注意点などを丁寧に教えていただきました。また、実際に遭遇する機会が少ないファブリー病のマルベリー小体をディスカッション顕微鏡にて見させていただきました。典型的な渦巻き状の形態を示すもの以外にも渦巻きが見えない非典型的なものなど、様々な形態のマルベリー小体を観察することができました。臨床でもマルベリー小体の鏡検依頼があり不安を感じていましたが、今回の経験を活かして検査に役立てていきたいと思えます。

現地での実習ということで他の施設の方々とも交流することができ、日常の検査実施状況や工夫点なども教えていただくことができました。またぜひこのような機会があれば参加させていただきたいと思えます。ありがとうございました。

医療法人社団富家会富家病院

藤沢 あすか

私は慢性期をメインにした病院に勤めており、尿沈渣は月に1検体ほどしか検査依頼がありません。今回、知識を深めるため令和4年度一般検査鏡検実習に参加させていただきました。

短い時間の中で、たくさんのスライドから基礎的なものをメインに観察しました。普段は別の検体を同時に見ることができないため、細胞の特徴を比較できる貴重な機会となりました。赤血球は形ではなく中身の入り方で糸球体型かどうかを見るなど、講師の方の経験に基づいた見方は今後の検査に活かせると思います。

検査数が少ないばかりに苦手意識を持っていましたが、苦手だからこそ積極的に関わろうと思える研修会でした。

埼玉医科大学国際医療センター 中央検査部

荻原 安純

今回、令和4年度一般検査鏡検実習に参加させていただきました。この勉強会に参加したことで、知識に厚みをつけることができました。その理由の1つ目が、マルベリー小体を実際に鏡検できたことです。微動を使い綺麗な渦を確認できたときは感動しました。

2つ目は好酸球です。好酸球は2核を探すと研究班の方に教えていただきました。白血球数だけでなく分画も鏡検できることを知り、沈渣の奥深さも学びました。

3つ目は症例問題です。1番多くのことを学んだ時間でした。上皮内癌、腺癌、核内封入体など、普段見られない症例を鏡検でき、また鏡検結果を考察する面白さも学びました。この貴重な経験を今後のルーチンに活かしていきたいと思いました。

お忙しい中、多様な症例を準備して下さった研究班の方々、誠にありがとうございました。

提出日 2022年10月31日

文責：藤村和夫